

# 第55回中国高等学校弓道選手権大会実施要項

- 主 催 中国高等学校体育連盟  
鳥取県教育委員会  
鳥取県高等学校体育連盟
- 後 援 (公財) 全日本弓道連盟  
中国地域弓道連合会  
米子市教育委員会  
(財) 鳥取県体育協会  
米子市体育協会
- 主 管 中国高等学校体育連盟弓道専門部  
鳥取県高等学校体育連盟弓道専門部  
鳥取県弓道連盟

## 1 期日および会場

- (1)大会受付 平成24年6月22日(金) 8:30~  
(2)公開練習 平成24年6月22日(金) 9:00~14:00  
会場 鳥取県立武道館主道場  
(3)開会式 平成24年6月22日(金) 14:45~  
会場 鳥取県立武道館主道場  
(4)競 技 平成24年6月23日(土)~24日(日) 9:00~  
会場 鳥取県立武道館弓道場  
(5)閉会式 平成24年6月24日(日) 14:10~  
会場 鳥取県立武道館弓道場

## 2 競技日程

	期日	時間	内容	会場
第1日目	6月22日(金)	9:00 14:45 15:10 15:30	公開練習 開会式 矢渡し 教職員弓道大会	弓道場 主道場 弓道場 弓道場
第2日目	6月23日(土)	9:00 10:05 11:10 12:00 12:30 16:30	個人競技 予選一回戦(女子・男子) 個人競技 予選二回戦(女子・男子) 個人競技 決勝(女子・男子) 個人競技 表彰 団体競技 予選(女子・男子) 組み合わせ抽選会	弓道場    弓道場
第3日目	6月24日(日)	9:00 11:20 12:30 13:10 13:30 14:10	団体競技決勝トーナメント一回戦(女子・男子) 団体競技決勝トーナメント準々決勝(女子・男子) 5位~8位決定戦(女子・男子) 団体競技決勝トーナメント準決勝(女子・男子) 団体競技3位・4位決定戦(女子・男子) 団体競技決勝トーナメント決勝(女子・男子) 閉会式	弓道場    弓道場

\* 予定時刻なので若干前後することもあります。注意して下さい

### 3 競技種目・方法・規則

#### 競技種目

団体競技 男子の部・女子の部（1校・・・選手5名、補員2名以内）

個人競技 男子の部・女子の部（各県12名以内）

#### 競技方法

- (1) 36cm露的、射距離28m、的中制。  
行射は、個人競技及び団体競技予選は立射とし、団体競技決勝トーナメントは坐射。  
射手間隔は個人競技は165cm、団体競技は180cmとする。
- (2) 個人競技（3人立4射場）  
四ツ矢2立（計8射）とし、的中総数上位から8位まで決定する。同中のとき、優勝者決定は射詰とし、他は遠近法により決定する。但し、射詰において、9射目からは24cmの星的を使用する。  
優勝決定以外の順位決定の際は、2射場で同時に行う場合もある。
- (3) 団体競技（5人立2射場）
  - ①予選および決勝トーナメントは各自4射、計20射とする。
  - ②予選は的中総数上位16チームを通過とする。16位のチームが複数ある場合は、各自1射ずつの競射とする。（競射5本目は予備矢を使用）
  - ③決勝は抽選により組み合わせを決定し、トーナメント戦方式により行う。同中の場合は、各自1射ずつの競射とする。（競射1本目は予備矢を使用）
  - ④3位・4位決定戦は各自2射、計10射とする。  
5位から8位は、決勝トーナメント準々決勝の的中総数により決定する。同中の場合は、各自1射ずつの競射とする。
  - ⑤決勝トーナメントの組み合わせ抽選方法は次のとおりとする。
    - ア) 予選の中上位4位チームを、立順1番・8番・9番・16番のいずれかに、抽選によりシードする。なお、同中により5チーム以上が該当する場合には、予備抽選を行い、上位4チームを決定した後に、シード抽選を行う。予備抽選で外れた学校は、予備抽選以外のチームとともに、シード後の抽選に加わる。抽選順番は、的中数順とし、同中の場合は、立ち順の順番とする。
    - イ) ア) 以外の協議を要するケースが生じた場合は、各県専門委員長が協議して決定する。
- (4) 競技時間の制限
  - ①競技時間は本座における進行係の合図によって始まり、最後の射手の離れで終わる。
  - ②1団体20射の行射制限時間は予選（立射）は7分以内とし、決勝トーナメント戦（坐射）は8分以内とする。それぞれ30秒前に予鈴、終了時点で本鈴の合図をする。
  - ③弦切れ、その他の事故が生じてても時間の延長はしない。
  - ④個人競技及び1射ずつの競射については、進行係または射場審判の指示に従うものとする。
- (5) 選手の交代
  - ①申込書に記載した立順及び補員の変更は認めない。
  - ②団体競技の選手の交代は、予選前に1回・決勝トーナメント中に2回、計3回まで認める。その際、所定の用紙に記入し、監督が第3控に入るまでに届け出ること。
  - ③交代は1回に2名まで認める。
- (6) 監督の変更  
監督の変更は、監督会議の際に申し出ること。但し、生徒の監督は認めない。
- (7) 審判その他は、(公財)全日本弓道連盟競技規則及び(財)全国高等学校体育連盟弓道競技規則による。

### 4 参加資格

- (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校（中等教育学校後期課程を含む）に在籍する生徒であること。
- (2) 選手は、各県高等学校体育連盟に加盟している生徒で、本競技実施要項により、参加資格を得た者に限る。
- (3) 年齢は平成5（1993）年4月2日以降に生まれた者とする。但し、同一学年での出場は1回限りとする。
- (4) チームの編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (5) 転校後6ヶ月未満の者は参加を認めない。但し、一家転住などやむを得ない場合は、所属する高等学校体育連盟会長の認可があれば、この限りではない。
- (6) 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長の承認を必要とする。
- (7) 参加資格の特例  
学校教育法第1条に規定する以外の学校の参加については、中国高等学校選手権大会開催基準要項のとおりとする。

## 5 参加制限

- (1) 団体競技 ア 男女とも各県6校以内とし、1校1チームとする。  
 イ 開催県は男女とも7校出場できる。  
 ウ 前年度優勝校は、上記ア、イ以外として出場することができる。
- (2) 個人競技 ア 男女とも各県12名以内とする。

### 監督

監督は1チーム1名とする。個人競技のみに出場する選手にも、監督または引率者1名をつけること。

## 6 参加申込

- (1) 申込方法 参加申込書・大会負担金は各県弓道専門委員長が取りまとめて、申し込むこと。
- (2) 申込先 〒683-0052 米子市博労町4丁目220  
 鳥取県立米子工業高等学校 小山英男  
 電話 (0859) 22-9211 FAX (0859) 22-9212
- (3) 申込締切 平成24年5月11日(金) 必着

## 7 大会負担金

- (1) 団体競技 1チーム 13,000円  
 (2) 個人競技 1名 1,500円

## 8 表彰

- (1) 団体競技 8位まで 団体競技優勝校には優勝旗(持ち回り)を授与する。  
 (2) 個人競技 8位まで 個人競技優勝者には優勝盾(持ち回り)を授与する。

## 9 宿泊

- (1) 宿泊料金 1人1泊2食7,500円(税込) 弁当料金 700円(税込)  
 (2) 申込方法 各学校でそれぞれ、下記申込先に申し込むこと  
 (3) 参加・宿泊申込先 〒683-0043 米子市末広町181  
 JTB中国四国 米子営業所 陰山 宛  
 電話 (0859) 33-5466 FAX (0859) 34-0171  
 (4) 申込締切 平成24年5月11日(金) 必着

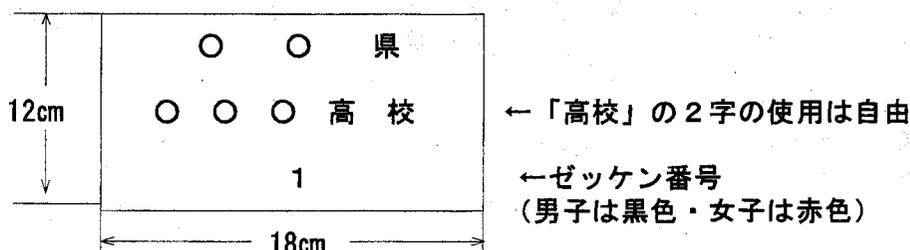
## 10 諸会議

会議名	日 時	会 場
専門委員長会議	平成24年6月22日(金) 13:00	鳥取県立武道館 研修室2
監督会議	平成24年6月22日(金) 14:10	鳥取県立武道館 会議室

## 11 連絡事項

- (1) 医療について  
 ①競技中の疾病・傷害などの応急処置は主催者で行うが、それ以降の責任は負わない。  
 また、重症者については医療機関を紹介する。  
 ②宿舎で患者発生の場合は、宿舎提供者が最寄りの医療機関を紹介する。  
 ③監督・選手は健康保険証を必ず持参すること。
- (2) 引率責任者は、選手全ての行動に対して責任を負うものとする
- (3) 競技上の留意事項  
 ①矢摺籐に意図的な目印のようなものがある場合、テープを巻いて使用を許可することもある。あらかじめ注意すること。  
 ②射場内で発声による応援をしてはならない。また、射場外の応援は射術上の指示をしてはならない。射場外での応援は「よし」の発声又は拍手にとどめて、品位を保つよう心掛けること。審判員が競技に差し支えると判断した場合は、注意を与えることがある。  
 ③矢番え完了後に筈こぼれした矢は無効とする。  
 ④出場者は、四つ矢の他に予備矢を2本持参すること。予備矢の1本は筈割れ、他の1本は競射に使用する。  
 ⑤取り矢を行うこと。  
 ⑥第2控から第1控へ移動するまでに集合しない場合は、その立に限り、その選手は棄権とする。

- (4) 競技の服装は次のとおりとする
- ①弓道衣（白）・袴（黒または紺）とし、白足袋を着用のこと。
  - ②鉢巻きを使用する場合は、長さは肩までとする。
  - ③リボンその他の装身具は禁止し、長髪の場合はゴム（黒または紺）で止めるよう指導する。
  - ④服装違反に関する注意に従わない場合は、失格とする。
- (5) ゼッケンについて
- 選手は、次の要領で団体・個人ともにゼッケンを作成し、右腰前に必ずつけること。
- ①布地は白色、県名・学校名は黒色。男子選手番号は黒色で、女子選手番号は赤色で記入すること。
  - ②選手番号は団体競技出場選手・個人競技出場選手ともにゼッケン番号とする。（団体競技と個人競技の両方に出場する選手は注意すること）
  - ③規格及び記載例



- ④団体競技出場チームのゼッケン番号は、各チームで1～7を決める。（6・7は補員）  
個人競技の場合は、各県で1～12（男女とも）を決める。
  - ⑤ゼッケンは安全ピンで2箇所をとめる。あるいは、紐でとめてもよい。
- (6) 受付について
- 受付については公開練習日に受付場所を設置し行うが、監督会議までには受付をすませること。
- (7) 本会場での公開練習について
- ①公開練習の時間 6月22日（金）9：00～14：00（受付8：30）
  - ②公開練習の受付をしても14：00で進行委員が退場させるので注意すること。
  - ③公開練習の立順は受付順とするので、予選の射場と異なることもある。団体は6人立で1組、個人及び補員は3人立で6名をもって1組とする。2組揃った時点で射場へ入場させる。
  - ④公開練習は団体競技出場選手と、個人競技出場選手は兼ねる。
  - ⑤公開練習も監督の引率によること。
  - ⑥公開練習は立射で1人2回までとする。ただし、1回目のを優先する。また、競技の服装で行うこと。
  - ⑦公開練習の矢取りは、行射後に2立後の立ちの矢取りをすること。  
矢取り開始は進行委員の「矢取り」の発声で行うこと。
- (8) その他
- ①開会式の服装は、競技の服装又は制服とすること。
  - ②更衣は更衣室を使用すること。
  - ③控室は主道場2階観客席及び主道場を使用すること。
  - ④飲食については主道場2階観客席以外厳禁とする。（屋外の公園は可）
  - ⑤巻藁の持ち込みは禁止とする。
  - ⑥各県申し合わせにより公開練習以外の練習については、会場・市内の各高等学校弓道場の使用はできない。
  - ⑦個人情報については、引率者（監督・コーチを含む）の氏名、学校名、参加生徒の氏名、学年、学校名等を、本大会プログラム及び各種大会公式記録への掲載を目的として使用します。肖像権については、大会記録、メディアの取材等で写真撮影があるので、ご了承ください。